

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月14日

事業所名 P.P.P.ヒマワリ！児島

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|----|-------------------------------|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 2 | 7 | 今年度、1Fホールの一部スペースに個別の部屋を設置した。 | 施設で利用可能な空間は限られているため、空間を新たな目で見直していく。 |
| | 2 職員の配置数は適切である | 5 | 4 | 基準配置2. 5人に対して5人を配置している。 | 午後からの職員配置に余裕がないので、調整していく。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 4 | 5 | 利用児の特性や発達にあわせ、構造化を行っている。 | バリアフリー化等、修繕は困難であるが、動線等の工夫をいっていく。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 7 | 1 | 日々清潔で落ち着いた環境設定を心がけている。 | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 5 | 5 | ・朝礼や終礼、クラス会議、リーダー会議、調整会議等の場で、意見を出し合っている。 | 設定した目標やマイルストーンを意識して業務にあたっていく。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 10 | | ・満足度調査を行い、毎月フィードバックを行っている。 | |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | 2 | ・法人のホームページで公表している。 | 法人のホームページが適宜更新できるように事業所から発信していく。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 5 | 3 | ・法人として検討中である。 | |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 7 | 2 | ・コミュニケーションについての研修や人権会議等、法人全体で計画的に進めている | ・職員一人一人の自己啓発が大切。学ぶ意欲を支えていく。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 9 | | ・一人一人の発達を把握するため保護者のニーズを調査している。 | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | 3 | ・一人一人の発達を把握するためのアセスメントを行っている。 | ・アセスメントを行う職員に偏りがでないようにしていく。 |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 6 | 2 | ・保護者のニーズをしっかりと理解するように心がけている。 | ・児童発達支援ガイドラインについての勉強会を行い、目標や支援内容がより分かり易くなるようにしていく。 |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 10 | | ・児童発達支援計画を日々意識した支援を心がけている。 | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | 9 | | ・クラス会議やリーダー会議で活動内容を計画している。 | |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 9 | 1 | ・一人一人の特性や発達を把握して、個別の支援を日々行っている | 担当する職員に限定せず、職員全員で一人一人の支援を考えていく。 |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 9 | 1 | ・集団活動において一人一人の子どものニーズを見落とさないようにしている。 | 集団活動が難し子どもについて、決めつけることなく様子を観察しながら子ども同士の関わりを増やしていく。 |
| 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 10 | | ・子どもの受入れ迄の時間に役割分担を一覧表で確認している。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|----|---|---|---|
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 7 | 2 | ・終礼や朝礼、クラスノート等を活用して情報を共有している。 | 職員間におけるコミュニケーションについて風通しのよい関係を構築していく。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 9 | 1 | ・ケース入力やクラスノートに漏れの無いように記録している。 | 記録内容が読み手に正しく伝わるように心掛けていく。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 8 | 1 | ・毎月のクラス会議で進捗を確認している。 | クラス会議に非正規職員も確実に参加できるように日程調整を行っていく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 9 | 1 | ・担当する職員と児発管が参画するようにしている。 | サービス担当者会議について情報共有を確実にやっていく。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 8 | 2 | ・保健所主催のここに親子教室に保育士を派遣している。 | 保健所等の関係機関との連携を適宜行っていく。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 6 | 2 | ・地域の保険、医療機関との連携を行っている。 | 看護師等の配置を検討し、医療的ケアが必要な子どもについての受け入れも検討していく。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 5 | 3 | 子どもの主治医や協力医療機関等と情報共有を行っている。 | 看護師等の配置を検討し、医療的ケアが必要な子どもについての受け入れも検討していく。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 7 | 2 | ・移行される子どもについて、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 移行先への訪問等を積極的に行っていく。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 8 | 1 | ・移行される子どもについて、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 移行先への訪問等を積極的に行っていく。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 9 | 1 | ・センター会議等に参加している。 | 他の児童発達支援センターや事業所との交流の機会を増やしていく。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | 9 | ・保護者の意見等を伺っている。 | 障がいのない子どもと活動する機会について検討していく。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 2 | 7 | ・センター会議等に参加している。 | 他の児童発達支援センターや事業所との交流の機会を増やしていく。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 10 | | ・保護者との電話又は対面での対話の機会を毎週持つようになっている。 | 保護者との対話の時間を継続して持つようにする。 |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 2 | 5 | ・ペアレントトレーニングの研修について検討している。 | ペアレントトレーニングの研修を受講する。 |
| 保護者へ | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | 1 | ・契約時に時間をかけて説明している。 | 運営規程や利用者負担について職員全員に周知していく。 |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 8 | | ・懇談前に保護者のニーズを聞き取り、支援計画に反映した上で懇談時に丁寧な説明を心がけている。 | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 9 | | ・保護者との電話又は対面での対話の機会を毎週持つようになっている。 | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 7 | 2 | ・保護者が交流するこじカフェや、かがやき手帳を書く会等を実施している。 | より多くの保護者が参加し交流する場になるよう活動内容を見直していく。 |

| | | | | | | |
|---------------------------------|----|--|---|---|---|--|
| の 説 明 責 任 等 | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 8 | 1 | ・なんでも相談の投函BOXを設置している。また、日頃の対話からも気になる事項はなんでも相談として解決まで対応している。 | 保護者の声に迅速で確実に対応するよう、なんでも相談案件として取り扱っていく。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 8 | 1 | ・毎月クラスの状況や行事などを園だよりでお知らせしている。 | 園だより等が保護者に興味を持ってもらえるように内容を見直していく。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 9 | | ・個人情報は個人的に持ち帰らないことを徹底しており、鍵付きキャビネットに保管している。 | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 9 | | ・対面での対話や視覚情報を活用した情報伝達をしている。 | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 1 | 7 | ・法人のイベントである地蔵盆で地域住民を招待している。 | 事業所としての行事は検討中。 |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 7 | 2 | ・倉敷鷺羽高校への津波対策避難を実施している。 | 定期的な訓練内容について保護者への周知を行っている。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 9 | | ・定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。 | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 9 | | ・服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 9 | | ・提供する給食やおやつについて食物アレルギーのある子どもは、医師の指示書に基づいて対応している。 | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 9 | | ・ヒヤリハットの報告書を作成し、共有している。 | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 9 | | ・毎月人権会議を全員参加で行っている。また、人権のヒヤリハットを実施している。 | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 7 | 1 | ・身体障がいのある子どもについて、医師の指示のもとで安全のための拘束を行っている。 | 人権のヒヤリハットを職員全員が毎月提出することで身体拘束が回避できる組織を目指していく。 |

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年3月14日

事業所名 P.P.P.ヒマワリ！児島

保護者等数(児童数)

回収数 22 割合 73%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------|---|----|---------------|-----|-------|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 20 | 1 | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供達それぞれの特性を考え、スペースを区切ったりと工夫もされていて、よく観察して下さっているのだなあと関心しています。 ・教室、ホール、園庭、時には戸外散歩でも遊んでいるので十分だと思います。 ・のびのび過ごせていると思います。 ・外に出なくても広いホールがあり子ども達が十分体を動かせるので良いと思う。 | |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 20 | | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・常に気にかけて一人一人見て下さっているのが十分だと思います。 ・一人一人に寄り添ってくださるので今のままでいいと思います。 ・子どもに対して先生が多くいらっしやるので、細やかな対応や目をかけて見て下さるので良いと思う。 | |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 19 | 1 | | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・写真や椅子にマークを貼って分かり易く教えてくださっていました。 ・子どもにあった遊びや課題をして頂き楽しそうに行くので良かったです。 | 既存の施設でバリアフリー化等対応が困難なケースもあるが、可能な範囲で対応していく。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 22 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・いつも先生方が掃除を丁寧にしえ下さっていて施設に入ると消毒の匂いがします。トイレも臭いが気になったことはありません。 ・いつ伺っても綺麗です。 ・トイレもこまめに連れて行って頂いてありがとうございます。 | |
| 適切な支援 | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか | 22 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・課題も最初だからできるようになって欲しいことを言って作成されています。 ・作成する前にお話ししたときに私たち親の思いもよく聞いてくださり、それが反映されていると思います。 | |
| | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 22 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・細かく支援内容が設定されています。 | |
| | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 22 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・力を入れて欲しい所を聞いて下さり直ってきたりして凄くありがたいです。 | |
| | 8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか | 19 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムの内容がよく分かりません。 ・いろんなことをしてくれるので凄く工夫していると感じます。 | |

| | | | | | | | | | |
|----------|----|---|----|---|---|----|---|---|--|
| 提供 | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 6 | | 3 | 14 | <ul style="list-style-type: none"> ・一般の刺激も大事だとは思いますが、交わることの難しさも理解しているので大人が何人ついても突然の攻撃を防ぐことは無理だと思います。今後もそこまでのサポートや交流はなくても（施設側の）いいような気がします。親としても一般の刺激を受けさせるにはそれなりのリスクもあり、怪我をさせてしまったらどうしようと理解されない行動を取ることもあり「すみません」と謝るのも負担になるような気がします。これをしようとする先生方の負担も増えると思います。ヒマワリで学べる最大限で本人に合った支援でいいと思います。 ・ヒマワリ児島以外の子ども達と関わる機会があるのか分からない。 ・友達の子どもと遊びます。 | 障がいのない子どもとの活動に不安を持たれる保護者もいらっしゃるので、可能な活動を検討していく。 | |
| | 10 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 20 | 1 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・細かく説明してくださいました。 | | |
| | 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか | 20 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・わかり易く説明してくださいました。 | |
| | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか | 15 | 2 | 1 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談したことに対してこうしてみたらどうでしょうかと丁寧に説明して下さっています。 ・私が参加していないだけです。しっかりされていると思います。 ・センターでの取組を教えていただけるので、家での導入がスムーズです。 ・回すのが好きなので上手に回せていたら褒めたり特性を伸ばしていくのが一番いいかなと思います。 ・いまいよく分からず子どもと接している事が多い。 | | |
| | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 16 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の送迎の時に今日あった事を伝えてくださったり定期連絡でも細かく教えてくださいました。 ・細かく寝た時間や風邪ひいていたらどんな様子だったかを教えて頂けます。 | |
| | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 20 | | | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・面談や定期連絡の時に困っていることはないですかと親身になって聞いてくれます。 ・いつもいっぱい様子を教えていただけて課題も凄くできたなど、言って頂けたり、こうした方がいいかもとってもらえたりありがたいです。 | |
| | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 13 | 2 | 1 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の集まりに参加した事がないので分かりません。 ・私が参加していないだけです。しっかりされていると思います。 | | |
| 保護者への説明等 | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 21 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・こういう事がしてみたい、必要だと意見するとすぐに用意して下さったり段取りを考えて下さいます。 ・臨機応変にご対応いただけて助かります。安心して通えます。 ・すぐに対応してくれます。 | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|--|---------------------------------|
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 21 | | | | ・意思疎通ができませんが、ひまわりに行きだして少し私も子どもが思っていることが分かってきています。 | |
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 17 | 1 | 1 | 2 | 細かく発信してくれています。 | |
| | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか | 20 | | | 2 | されていると思います。 | |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。 | 13 | | 1 | 6 | ・緊急時対応及び防犯マニュアルは存じ上げません。 ・災害時の避難場所や保護者への連絡方法、送迎やお迎えの方法を知らせておいて欲しい。 ・説明してくださいました。 ・あまりこういう事は詳しくは知らないかも。 | ・BCP（事業継続化計画）の概要について説明する機会を設ける。 |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 19 | | | 2 | ・説明してくださいました。 ・よく知らない。 | |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 20 | 1 | | | ・朝眠たかったり体調が悪くて気が乗らない時はいやがりますが基本的にはヒマワリ児島は大好きです。 ・楽しく楽しみにしていていつも笑顔で行くのが嬉しいです。 | |
| | 23 | 事業所の支援に満足しているか | 21 | | | | ・大変お世話になっています。細かく子どもの様子を教えてくださいるのでそれを聞くのが楽しくなっています。 ・大変満足しています。いつもありがとうございます。 ・楽しく満足しています。すぐには入れて良かったですし、入ってから楽しく成長が見られて感動しています。大変ですがよろしくお願いします。 | |

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。